

文化交流部会 部会長 多田久子

7月14日(日)
コンサート出演者・長谷川眞弓・末岡智子・西岡知子

9月22日(日)
コンサート出演者・松田真理子・嶋純子・寺田佳子・嶋崎幸枝

11月17日(日)
コンサート出演者・ころあろーどら&あろどれった・藤原道代・長谷川いずみ

栄光園で、出演者による楽しいコンサートが満喫できる計画です。皆様のご参加をお願い致します。

長尾台小学校宝塚コミュニティスクール(学校運営協議会制度)始まる
長尾台小学校長 柴田 芳宏

コミュニティスクールは、学校・保護者・地域が学校教育のビジョンや課題を共有し、一体となって学校運営を進めていく仕組みです。そのためには、学校運営協議会を開催すると共に、学校を支援していただく体制づくりが大切になってきます。具体的には、地域の皆様に子どもたちの学習の充実や安全のため、学習の講師や技術サポート、支援ボランティアなど様々な形で学校教育に参加していただきたいと思っています。



長尾台小学校箏同好会の皆さんによる、4年生箏体験学習

そして、何より地域の皆さんには、子どもたちへの声かけをお願いしたいのです。地域の愛情に恵まれた子どもたちは、ここを故郷として、心豊かで自分に自信が持てる子どもへと成長していくと思います。無理のない範囲で結構です。一緒に子どもたちを育ててくださいますようお願い申し上げます。

子ども福祉部会 部会長 河野明美

GW最後の5月6日に、子ども達が調理実習をコミセンで行いました。市よりアルファ化米の提供を受けて、3色弁当作りに挑戦です。当日は18名の児童が参加(女子8名・男子10名)、管理栄養士の池田さんの指導の下、鶏そぼろ・炒り卵があっという間に出来上がり、おいしくいただきました。みんなとても上手でした、ご家庭でもどうぞ！今年度も子ども福祉部会では、子育て支援を中心に活動予定です。

3色弁当を作ろう



福祉部会 部会長 円藤 義治

障害への理解が足りないため差別や偏見が根強く残っています。住み慣れた地域で自立生活が送れるように配慮が必要になります。特別扱いではなくていいが、合理的な配慮はしてほしいという声があります。それぞれの障害に対してどのような接しかた配慮がいいのか具体的な学習をしなければと思います。

まちづくり計画作成委員会

委員長 松山潤一

委員会は現在、今年1月に回収しましたアンケートを基に今年12月に市へ提出する準備として、各分科会毎にデータを分け作成し、内容などの討議を現在行っている所です。

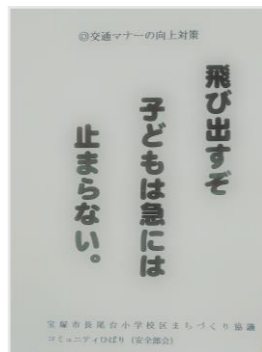


安全部会

部会長 松原孝彦

今年度の安全部会としては、昨年と基本方針としては大きな変更も無く小学生・中学生を中心とした「安全・安心」を持って頂く為の事業を下記の通り進めていく計画です。

- 1) 交通マナーの向上対策(ラミネート表示)
(・各自治会毎に交通マナーの向上対策「標語の掲示」をお願い致します。
・前年度の促進事項)



▲交通マナー標語

- 2) 長尾台小学校への「車いす用のスロープ」の設置を促進する。
(昨年度は各自治会の賛同を得て、中川市長宛に申請したが、財政難の為として先送りの回答をして来たので、今年度は市議員の方々の協力を得て促進する予定)

- 3) その他としては「小学校の安全対策会議・まちづくり計画の防犯防災部会」との共有化による緊密な関係を継続致します。
(小・中学校とPTAの参画をお願いします。)

環境部会

部会長 中尾幸子

今まで通り「生物多様性 北雲雀さずきの森戦略」に沿って、多様な生態系を維持する整備をすすめていきます。今年には特に、常緑大径木(クスノキなど)の伐採を市と共に進めていきたいと考えています。10月からようやくトイレが使用できます。また、台風によるガケ崩れで通行できなかった松が丘からのルートが新しく整備されます。多くの皆様がさずきの森に親しんでくださることを願っています。

長尾台小学校区人権啓発推進委員会

委員長 梅田美佐子

6月25日よりスタートしました。活動予定は10月10日市民集会を開催、内容は「日本くまもり協会環境学習」。森と動物と私たちはどう関わっているのか？子どもたちと一緒に学習します！11月24日はさずきの森「巣箱を調べよう」巣箱のオーナーになりませんか？感受性を育てる学びにぜひご参加ください。



連載

あなたは大丈夫？困ったボランティア<その3>
種子島澄美

ボランティア活動は、自分のできるときに、相手のニーズに沿って、できることを行う活動ということでしたね。では、こんな方を周りで見かけることはありませんか？

「ボランティア活動ですから無償です。一切受け取れません！」と取りつく島のないほどの頑なさを買っておられる方。ボランティア活動＝無償という考え方は正解ですが、満点とも言えないのが難しいところ。無償でやってもらうのは気が引けてしまうというお相手があったとしても、日本人らしい感覚ではないでしょうか？「無償」信仰。お返し拒絶。ともに困ったボラと言えるかもしれません。

逆に、見返り・お礼・対価に対する強いこだわりのある方もいらっしゃるかも・・・
そういう方には、ぜひともコミュニティビジネスに関わられることをオススメしたいです！(^o^)
(続く)